

<基本方針1>健康を保つための疾病予防（健康寿命の延伸）

令和7年12月末時点

■事業方針A 健康状態を把握するための機会の提供と取り組みづくり（1/3）

事業名	評価指標		R5年度	R6年度	R7年度	事業の内容等
			〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：現状値〕 〔下段：目標値〕	
A-① 特定健康診査	実施量	受診率	45.1% (法定報告値)	46.0% (法定報告値)	— (※1) (法定報告値)	対象者：40歳以上の被保険者 実施期間：5月～2月
			60%以上	47.5%以上	48.0%以上	
	成果	メタボリック シンドローム ①予備軍者割合 ②該当者割合	—	①10.8% ②20.6% (法定報告値)	— (※1) (法定報告値)	
			—	①10.1%以下 ②20.6%以下	①10.0%以下 ②20.4%以下	
A-② 特定健康診査 受診勧奨	実施量	対象者への 事業周知回数	年3回	年3回	年2回	受診勧奨通知発送： 10月 受診勧奨通知1回目 12月 受診勧奨チラシ配布 1月 受診勧奨通知2回目 (9タイプ) 変更点：2回目の勧奨通知ではレセプトの ある対象者に対して、将来の健康予測を表示している。
			—	年2回以上	年2回以上	
	成果	受診勧奨した人の 受診率	18.7%	27.5%	— (※2)	
			26%以上	37.5%以上	38.0%以上	
A-③ ヤング健診事業	実施量	ヤング健診受診率	9.0%	9.3%	5.2% (10月請求分まで)	対象者：20～39歳の被保険者 実施期間：5月～2月 受診勧奨通知発送：11月
			11.0%以上	9.0%以上	9.5%以上	
	成果	特定健康診査 40～44歳受診率	20.9% (法定報告値)	22.3% (法定報告値)	8.6% (10月受診分まで)	
			27.5%以上	23.5%以上	24.0%以上	

※1：法定報告時（翌年度11月）に確認するため、現状値なし。

※2：健診期間は2月末までのため、全健診データが揃った段階で値を算出。

<基本方針1>健康を保つための疾病予防（健康寿命の延伸）

令和7年12月末時点

■事業方針A 健康状態を把握するための機会の提供と取り組みづくり（2/3）

事業名	評価指標		R5年度	R6年度	R7年度	事業の内容等
			〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：現状値〕 〔下段：目標値〕	
A-④ 特定保健指導	実施量	実施率	13.8% (法定報告値)	17.6% (法定報告値)	— (※1)	対象者：特定健康診査結果から判定
			60%以上	18%以上	20%以上	
	成果	特定保健指導による 特定保健指導対象者の減少率	25.4% (法定報告値)	26.8% (法定報告値)	— (※1)	
			30%以上	35.0%以上	36.0%以上	
A-⑤ 特定保健指導 未利用者対策	実施量	未利用者勧奨実施率	100%	100%	100%	変更点：次の健診への意識向上を図るため、令和2年9月から未利用者に対して文書による再勧奨を開始。
			95%以上	100%	100%	
	成果	利用勧奨した人の 特定保健指導利用率	6.3%	6.9%	—	
			11.0%以上	10.0%以上	11.0%以上	
A-⑦ 健康意識向上の 取り組み (特典（インセンティブ）事業)	実施量	100ポイント達成者数	—	1074人 前年度比増加	475人 ※10月末実績値まで 前年度比増加	対象者：市内在住、在学、在勤の方 変更点：アプリ内の通知回数を増加
			69.3% (法定報告値)	71.4% (法定報告値)	66.7% (※2) (10月受診分まで)	
	成果	生活改善意欲 (※2)	70%以上	67.5%以上	68.0%以上	

※1：法定報告時（翌年度11月）に確認するため、現状値なし。

※2：特定健康診査質問調査で、「運動や食生活の改善をしてみようと思いますか」の質問に対し、「改善するつもりはない」以外の回答を選んだ人の割合。

<基本方針1>健康を保つための疾病予防（健康寿命の延伸）

■事業方針A 健康状態を把握するための機会の提供と取り組みづくり（3/3）

令和7年12月末時点

事業名	評価指標		R5年度	R6年度	R7年度	事業の内容等
			〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：現状値〕 〔下段：目標値〕	
A-⑥ がん検診受診勧奨 (胃がん・肺がん・ 大腸がん・子宮頸が ん・乳がん)	実施量	対象者への 受診勧奨 実施率	—	100%	100%	対象者：各がん検診ごとに異なる 実施期間：5月～2月 ※窓口でチラシを配布 ※受診率の算定方法 胃がん検診 (前年度受診者数+当該年度受診者数 -前年度及び当該年度における2年連 続受診者数)÷当該年度の対象者数× 100  大腸がん検診・肺がん検診 当該年度の受診者数÷当該年度の対象 者数×100  子宮がん検診・乳がん検診 (前年度受診者数+当該年度受診者数 -前年度及び当該年度における2年連 続受診者数)÷当該年度の対象者数× 100
			—	100%	100%	
	成果	各がん検診 の 受診率	胃がん：27.9% (50～74歳) 大腸がん：28.8% (40～74歳) 肺がん：28.3% (40～74歳) 子宮頸がん：25.0% (20～74歳) 乳がん：28.2% (40～74歳)	胃がん：27.9% (50～74歳) 大腸がん：29.1% (40～74歳) 肺がん：28.6% (40～74歳) 子宮頸がん：25.0% (20～74歳) 乳がん：28.5% (40～74歳)	胃がん：22.8% (50～74歳) 大腸がん：14.4% (40～74歳) 肺がん：14.1% (40～74歳) 子宮頸がん：20.0% (20～74歳) 乳がん：23.1% (40～74歳) (10月受診分まで)	
			50%以上	各25%以上	各28%以上	
		各がん検診 の精密検査 受診率	胃がん：85.4% 大腸がん：77.8% 肺がん：93.7% 子宮頸がん：89.2% 乳がん：91.7%	胃がん：88.9% 大腸がん：77.1% 肺がん：93.4% 子宮頸がん：79.3% 乳がん：92.9%	胃がん：70.0% 大腸がん：54.4% 肺がん：81.4% 子宮頸がん：76.9% 乳がん：82.8% (12月末把握分まで)	
			90%以上	—	—	

<基本方針1>健康を保つための疾病予防（健康寿命の延伸）

令和7年12月末時点

■事業方針B 重症化予防の推進による医療の効率化（1/2）

事業名	評価指標		R5年度	R6年度	R7年度	事業の内容等
			（上段：実績値 下段：目標値）	（上段：実績値 下段：目標値）	（上段：実績値 下段：目標値）	
B-⑧ 糖尿病性腎症 医療機関受診 勧奨事業	実施量	対象者への受診勧奨実施率	100%	100%	100%	内容：健診の結果から、糖尿病性腎症の医療受診の必要があると推測されるリスク保有者に、医療機関への受診勧奨を実施する。
			95%以上	100%	100%	
	成果	受診勧奨対象者が医療機関を受診した割合	23.8%	19.2%	—（※1）	
			25.0%以上	45.0%以上	45.0%以上	
B-⑨ 生活習慣病に 関する異常値 放置者に対す る医療機関 受診勧奨事業	実施量	対象者への受診勧奨実施率	100%	100%	100%	内容：健診の結果から、糖尿病・高血圧・脂質異常症の医療受診の必要があると推測されるリスク保有者に、医療機関への受診勧奨を実施する。
			95%以上	100%	100%	
	成果	【糖尿病医療受診対象者】 受診勧奨対象者が医療機関を受診した場合 ①特定保健指導対象者	11.8%	18.4%	—（※1）	
			15.0%以上	40.0%以上	40.0%以上	
		【糖尿病医療受診対象者】 受診勧奨対象者が医療機関を受診した場合 ②特定保健指導対象外者	55.0%	44.8%	—（※1）	
			25.0%以上	65.0%以上	65.0%以上	
【高血圧・脂質異常症 医療受診対象者】 ③特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	25.4% (法定報告値)	26.8% (法定報告値)	—（※2） (法定報告値)			
	30.0%以上	31.0%以上	32.0%以上			

※1：年度末のレセプトにて確認するため、現状値なし。

※2：法定報告時（翌年度11月）に確認するため、現状値なし。

<基本方針1>健康を保つための疾病予防（健康寿命の延伸）

令和7年12月末時点

■事業方針B 重症化予防の推進による医療の効率化（2/2）

事業名	評価指標		R5年度	R6年度	R7年度	事業の内容等
			（上段：実績値 下段：目標値）	（上段：実績値 下段：目標値）	（上段：実績値 下段：目標値）	
B-⑩ 生活習慣病に 関する治療中 断者に対する 医療機関受診 勧奨事業	実施量	対象者への受診勧奨実施率	—	100%	100%	内容：糖尿病・高血圧・脂質異常症の治療を中断しているとみられる対象者にA4サイズの通知を送付し、医療機関への受診勧奨を実施する。
			—	100%	100%	
	成果	受診勧奨対象者が医療機関を受診した割合	—	36.6%	—（※1）	
			—	45.0%以上	45.0%以上	

※1：年度末のレセプトにて確認するため、現状値なし。

<基本方針2>持続可能な保険サービスの提供（医療費の適正化）

令和7年12月末時点

■事業方針C 適正な医療を受けるための情報提供

事業名	評価指標		R5年度	R6年度	R7年度	事業の内容等
			（上段：実績値 下段：目標値）	（上段：実績値 下段：目標値）	（上段：実績値 下段：目標値）	
ジェネリック 医薬品等の啓発	実施量	ジェネリック 医薬品差額通知の 送付頻度	年4回	年2回	年2回	内容： ・ジェネリック医薬品差額通知送付 ・「ジェネリック医薬品希望」と印字された保 険証ケースの配布 ・広報折込チラシ
			年4回	年2回以上	年2回以上	
	成果	ジェネリック 医薬品利用率	79.3% (R6年4月診療分)	85.0% (R7年4月診療分)	84.8% (R7年10月診療分)	
			80%以上	78.0%以上	78.5%以上	
服薬情報通知事業	実施量	事業対象者に対す る通知割合	—	100%	100%	内容：連合会にて重複投薬対象者を抽出し、 通知を送付する。
			—	100%	100%	
	成果	通知対象者の服薬 状況の改善人数	—	4人	6人 (R7.12時点)	
			—	6人以上	6人以上	
受診行動適正化事業	実施量	重複・頻回受診者 への通知割合	—	100%	100%	内容：重複・頻回受診者にリーフレットを送 付して注意喚起・情報提供を行う。
			—	100%	100%	
	成果	対象者の受診状況 等の改善人数	—	9人	—（※1）	
			—	3人以上	4人以上	

※1：年度末のレセプトにて確認するため、現状値なし。